

**10/28** 基地の負担軽減、環境の改善へ  
全国市議会議長会基地協議会が来訪



全国市議会議長会基地協議会(藤本泰也会長【山口県岩国市議会議長】)の関係者が、協議会への県内市町村の加入促進を呼びかけるため、市役所を訪れました。同協議会は、米軍諸施設並びに陸海空自衛隊および旧軍港等の施設に関係する、全国の市町村議会議長をもって組織され、基地関係市町村の共通問題の調査、研究およびその具体的解決策を推進することなどを目的に活動しています。

**10/28** 自分を認めること  
少年の主張大会報告



宜野湾市青少年健全育成協議会(仲村宗男会長)が新役員報告と、今年度宜野湾市代表となった普天間中学校(佐伯進校長)の豊見山紗彩さんが、少年の主張大会報告に市役所を訪れました。報告会では実際に大会で発表した「自分を認めること」を豊見山さんが発表し、自己肯定感が悪いことではなく、短所や失敗によって、自分を磨ききかかだと思える前向きな考え方だと語りました。

11月は教育月間「ぎのわん教育の日」表彰式



11月5日、中央公民館において「ぎのわん教育の日」表彰式が開催され、教育の振興発展に貢献し、他の模範として推奨に値する業績もしくは善行があったと認められる方々へ功労賞、活躍賞が贈られました。長年、子どもたちの通学路などに草花を植え付け、地域の美化活動に貢献し、功労賞を受賞した喜友名区の照屋清昌さんは「地域の清掃をきっかけに始めましたが、近くの保育園の園児たちが散歩しているときに、植えた花を見てくれているのがとても嬉しいです」と話し、全琉コンクールで図画・書道共に「最優秀」受賞と特殊詐欺防止ポスター制作で、活躍賞を受賞した普天間第二小学校6年生の鍾溝朱里さんは「受賞できて嬉しいです。中学校に行っても図画や書道を続けていきたいです」と話しました。

- 功労賞部門(9件)**  
石井真喜子、米須スミ、玉那覇哲秀、  
當眞嗣英、前田美恵子、仲田忠浩、  
下地智子、普天間三区安全見守り隊、  
照屋清昌
- 活躍賞部門(3件)**  
鍾溝朱里、比嘉心晴、新垣愛梨涼

**10/29** 心身ともにいきいきと暮らせるまちへ  
大塚製薬との包括連携協定を締結



大塚製薬株式会社(井上眞代表取締役社長)と市民の健康増進および市民サービスの向上を目的とした包括連携協定が締結されました。同社は、医薬品や食料品の製造のみならず、製薬会社ならではの研究開発や知見をもとにさまざまな事業を展開しており、熱中症予防のため市ワクチン集団接種会場へ飲料水の寄贈や、市内包括支援センターへの熱中症予防講義なども行っています。

**10/30** 多くの展示作品・舞台芸能が披露  
第41回宜野湾市文化祭を開催



市民会館および市立中央公民館にて、第41回宜野湾市文化祭(主催:市文化協会・市教育委員会)が開催されました。オープニングセレモニーで挨拶を行った市文化協会の城間盛久会長は「去年開催できなかった分、展示者や舞台に出る皆さんの熱意が強まっているように感じます」と述べ、松川市長は「市民の皆さまが展示作品や舞台を聞いて、見て元気になっていただければと思います」と話しました。

**10/21** 九州大会お疲れ様でした  
casa okinawa ale来訪



女子サッカーチームCasa Okinawa Ale所属の比嘉妃南さん(中部商業高校2年)が、OFA第31回沖縄県女子サッカー夏季選手権大会および、KYFA第25回九州U-18女子サッカー選手権大会沖縄予選で優勝し、10月23日に鹿児島県にて行われるKYFA第25回九州U-18女子サッカー選手権大会の出場報告に訪れました。比嘉さんは「昨日まで練習してきたことは勝利につながるので、チームみんなで勝てるように頑張ります」と話しました。

**10/22** 今年は北中城村を題材に  
ゆがふう塾第23期生報告会



中部市町村の自治体職員の人材育成を目的に実施している「ゆがふう塾」において、北中城村を題材とした3グループの研究について報告会が行われました。それぞれのグループが題材となった北中城村の現状を調査し、問題点を探り、解決に向けた課題への具体的な施策を発表しました。ゆがふう塾の名嘉座元一塾長は「地域の現状を地域に入っていくことが、市町村の職員に求められていると思います」と話しました。

**11/1** 宜野湾の海がデザインされた泡盛  
「青ひと雫」が発表されました



宜野湾市の海への思いを込めたラベルデザインの泡盛、「青ひと雫」の商品発表が行われました。「青ひと雫」は、咲元酒造株式会社と市観光振興協会がコラボした泡盛となっており、売り上げの一部は、ぎのわんマリン協会を通じて宜野湾市の海を守る事業へ寄附されます。上地栄一代表取締役は「美しい宜野湾の海を次世代に受け継いでいくための活動を一緒にやっていきたい」と話しました。

**11/3** パネル展や絵本展を開催  
市民図書館開館30周年記念イベント



宜野湾市民図書館にて、開館30周年記念イベントオープニングセレモニーが行われました。市教育委員会の知念教育長は「市民図書館の発展は、利用される沢山の方々のおかげだと深く感謝申し上げます。今後も市民図書館は、市民の学びの充実と、施設整備の充実に取り組んでまいります」とあいさつを行い、その後、開館アナウンスと共に30周年記念イベントがスタートしました。

**10/22** 世界で活躍する「宜野湾っ子」へ  
宜野湾市中学生英語ストーリーコンテスト



実践的なコミュニケーション能力を育成する場として中学生英語ストーリーコンテストが開催されました。1年生の部では宮城亮太さん(真志喜中)が、2年生の部では知念杏幸さん(琉球大学教育学部附属中)が1位に輝き、審査委員長を務めた琉球大学の深澤真准教授は「今回皆さんが学んだ事は、今後様々なコミュニケーションの場面にも活かされる財産になると思います」と講評しました。

**10/26** 合計10回の寄贈をいただいています  
アトムホームよりお米、ポーク缶詰の寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役)より、お米(3kg)150袋、ポーク缶詰150缶の寄贈がありました。宮平代表取締役は「コロナの影響で困っている人に何かできないかと考え、寄贈を始めました。今後もできる限り続けていくと思います」と話しました。アトムホームさまからの寄贈は今回で10回目となり、市から感謝状と支援を受けた市民からの感謝のメッセージを贈呈しました。